

予算決算常任委員会が9月4・5・6日、総務常任委員会が11日、文教厚生常任委員会が12日、産業建設常任委員会が13日に行われ、付託された議案などについて審査しました。

予算決算常任委員会

寄付金 3673万円に

付託された、平成28年度一般会計歳入歳出決算認定について審査しました。

歳入

町税

問 町民税の滞納・不納欠損件数が改善された理由は。

答 平成28年度は一斉催促を年2回から3回に増やし、戸別訪問の強化に努めた。

問 収入未済額減額への取り組みは。

答 固定資産なので、差し押さえなどを強化した（平成27年で14件、平成28年で13件）。相続人が不明な土地は、調査を進めるなど

の対応を取っている。

たばこ税

問 税収が年約300万円減少しているが、今後の見通しは。

答 加熱式タバコの普及などにより、今後は減収傾向が加速すると考えられる。

地方交付税

問 減少傾向だが、その理由と今後の見通しは。

答 国の地方財政計画による地方交付税の総額の減額などが主な理由。今後この傾向が続くと考えられる。

延長保育料保護者負担金

問 平成26年度比で3倍以上急増している理由は。

答 平成27年度はのべ1380人が利用

平成28年度はのべ2845人が利用。延長保育をはじめ園が増えれば、それにともない増加すると予想される。

寄付金

問 一般寄付金（7件3673万円）の使途は。

答 1500万円を教育文化振興基金とし、文化財事務所新築移転工事にあてる。ほかは一般財源とする。

歳出

消耗品費（地域間交流事業）

問 どのようなものであったか。

答 ほとんどが、平成28年の大樹町の水害支援によるもので、背負い式飲料水袋20

25枚購入のための支出。

魅力あるコミュニティ助成事業助成金

問 申請しても、承認待ちが続いている状況にあるのでは。

答 当該年度の要望を精査した結果であり、承認待ちということではない。

ホームページ改修委託

問 改修により、ホームページの更新を職員が行えるようだが、今後の更新業務の委託はどうなるのか。

答 ホームページの改修で、^{※1}CMS導入により、担当課の依頼をもとに総務課で更新している。現在サポート費用がかかっているが、職員が作業に慣れば、費用は減少すると考えている。

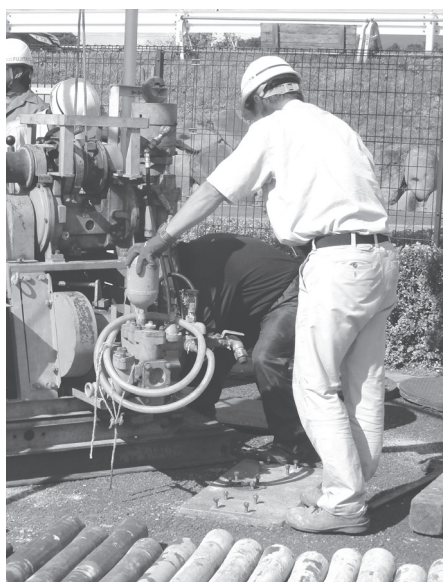
地域乗り合いバス

問 グループタクシーや高校生通学補助などを合わせて、総合的な対応ができないのか。

答 内部の検討課題としていきたい。



文化財事務所移転により、まちの農業遺産などの保存も望まれる。



よしおか温泉のポンプ交換工事

問 温泉施設改修工事
温泉施設改修で高
額出費が続いてい

答 周知については、
平成29年度では広
報とホームページで案
内、卒業する中学生に
チラシを配布。対象を
7千円以上とした結
果、現時点では月換算
で対前年3倍以上増加
している。

答 9月1日現在で0
歳児6人、1歳児
11人、2歳児16人とな
っている。

問 幼稚園が幼保連携
型認定子ども園になり、
3歳未満児の受け入れ
が可能となったが、本
年度の利用状況は。

答 これにより、駒寄
幼稚園が幼保連携
型認定子ども園になり、
3歳未満児の受け入れ
が可能となったが、本
年度の利用状況は。

問 補助金対象者が実
質10人は少ない。
周知はどのように行っ
ているか。もっと低い
金額から補助対象にし
てはどうか。

答 施設の老朽化が進
んでいるので、あ
る程度は発生すると見
込まれる。特に空調関
係が厳しい状況である。
駒寄幼稚園園舎
建て替え助成

るが、今後の見通しは。

資源ごみ回収事業補助

問 人口増加の中、回
収量は減少してい
る。自治会、育成会な
どを通じ働きかけ強化
を。

答 自治会連合会を通
じ^{※2}3R政策強化
に努めたい。

問 鳥獣駆除委託
今後とも鳥獣害対策
を続けていく必要
があるなかで、猟友会
の高齢化および会員数
減少傾向への対応をど
のように考えるか。

答 ^{※3}実施隊の編成に
よる充実を考えて
いる。

問 大橋橋掛け替え
大幅に時間がかか
っているようだが。
国の補助金の減少
により遅れが出て
きているが、平成30年
度中には工事は終了す
る予定である。

答 平成28年度の工事
内容は。

問 南下城山防災公園整備
平成28年度の工事
内容は。

答 平成28年度の工事
内容は。

問 造成工事と既存の
樹木の移植、階段
の設置、盛り土で古墳
を守る工事、竹林の伐
採と周辺に竹が生えな
いための防護措置など。
備蓄用食料・防災倉庫
防災倉庫備蓄につい
て、今後の考えは。

答 予算の範囲内で増
やしていきたい。

問 備蓄食料などにつ
いては、災害の比
較的少ないまちより、
ほかの自治体への支援
が多くなることも想定
しているか。

答 ほかの自治体にも
支援が出来るよう
に、役場でアルファ米
をはじめとする備蓄を
している。災害時応援
協定を結んでいなくて
も、支援していこうと
いう考えでいる。

問 大幅な増加になっ
たが、主な理由は。
平成28年10月より
ALTが2人に増

答 ALT報酬
大幅な増加になっ
たが、主な理由は。
平成28年10月より
ALTが2人に増

問 ALT報酬
大幅な増加になっ
たが、主な理由は。
平成28年10月より
ALTが2人に増

答 ALT報酬
大幅な増加になっ
たが、主な理由は。
平成28年10月より
ALTが2人に増

問 ALT報酬
大幅な増加になっ
たが、主な理由は。
平成28年10月より
ALTが2人に増

答 ALT報酬
大幅な増加になっ
たが、主な理由は。
平成28年10月より
ALTが2人に増

えたため。JETプロ
グラムによる任用1人
と、まちの直接雇用に
よる任用1人となった。

問 スポーツエキスパート
スポーツエキスパー
ト配置は、顧問の教
諭の負担減になったか。

答 時間的な軽減に
はならないが、顧
問に一番の負担となる、
専門的指導についての
負担は軽減されている。
また、継続して同じ人

問 夏休みなど児童の
スケジュールの関
係で不可能である。

答 夏休みなど児童の
スケジュールの関
係で不可能である。

問 大樹町子ども交流
交流事業を年2か
ら3回に分けて、
多くの児童が行けるよ
うにはできないのか。

答 夏休みなど児童の
スケジュールの関
係で不可能である。

問 大樹町子ども交流
交流事業を年2か
ら3回に分けて、
多くの児童が行けるよ
うにはできないのか。

答 夏休みなど児童の
スケジュールの関
係で不可能である。

問 大樹町子ども交流
交流事業を年2か
ら3回に分けて、
多くの児童が行けるよ
うにはできないのか。

ミニ解説

^{※1}CMS

専門的な知識がなくても、簡単にホームページの更
新・管理ができるシステム。

^{※2}3R政策

経済産業省が推進している、循環型社会を形成する
ための政策。3Rは、リデュース（廃棄物の発生抑制）
リユース（再使用）リサイクル（再資源化）をさす。

^{※3}実施隊

対象鳥獣の捕獲、防護柵の設置といった実践的活動
を担う。

^{※4}ALT

外国語指導助手。英語を母語とする外国人により、
児童・生徒の英語発音や国際理解教育の向上を目的
としている。

^{※5}スポーツエキスパート

中学の部活動を専門的に指導する外部講師。

総務常任委員会

花と緑のぐんまづくり 来年4月開催

一般会計補正予算を
含む議案3件、認定1
件、陳情1件について
審査しました。

一般会計補正予算

花と緑のぐんまづくり

問 花と緑のぐんまづ
くりの、700万

円の具体的な内容は。

答 ぐんまづくり協議
会への負担金、花

苗2万株購入、会場づ
くりの設計、プレイベ
ント経費など。

問 花苗の植え方は。

答 小学生の花育授業
でプランターへの
植え込み。町民参加の
花壇では、自治会に協
力を依頼したい。

公債費

問 公債費返済に4億1
652万円で、今



町民の力で盛大に！

後の実質公債費比率は。

答 3年後には、1.5
から2.0%下がる
と考える。

役場西駐車場

問 役場西駐車場整備
に、2002万円
が計上されたが。

答 役場西駐車場の西
側に、2314平
方メートル。60から70
台分を確保できる。

吉岡町文化センター

問 文化センター自動
ドア設置に、11
02万円の内容は。

答 文化センターホー
ル東側に自動ドア
を設置。花と緑のぐん
まづくりの会場に向け
て、ふれあい公園との
一体的活用をはかる。

企業誘致調査

問 企業誘致調査研究
400万円の内容
は。

答 駒寄スマートIIC
西部の工業誘致エ
リアの実態調査をし、
構想計画を立てるもの。
年度内にとりまとめた
い。

問 まちの特色を出す
必要があるのでは。

答 雇用の確保がで
き、流通の良さを
生かせる企業を考えて
いる。

将来交通シミュレーション

問 開発などにともな
う、将来交通シミ
ュレーションに、30
0万円の内容は。

答 駒寄スマートIIC
の東西の現道路を
もとに、将来の交通の
流れと問題点を洗い出
す。客観的データが今
後整備をするためには
必要。

駒寄スマートIIC

問 大型化事業工事の
進捗状況は。

答 上り線側町道拡張
部は今年度末に終
了。全体の工事は平成
32年度に終了の予定。

産業建設常任委員会

公共下水道事業の拡張計画が進む

議案3件、認定3件
について審査しました。

公共下水道事業

問 公共下水道事業の
拡張計画の進捗状
況は。

答 平成28年度は、全
体計画、事業計画
の変更認可の申請を行
い、認可を受けた。

問 平成28年度公共下
水道分担金の滞納
繰越分が、平成27年度
より増えたのは。

答 合併浄化槽からの
公共下水道切り替
えへの理解が進まず、
予定どおりの収納がで
きない。

問 水道水と井戸水を
併用している家の
下水道のつなぎ込みや、
使用料金は。

答 確認はしていない
が調査する。

問 下水道使用料の滞
納繰越分の件数は。
答 1086件、83人
分。

地域福祉交流施設に関する条例制定

議案6件および認定4件について審査しました。

交流施設に関する条例

問 施設設置の目的は。

答 誰でも気軽に寄つてもらおう、認知症カフェとして活用。ボランティア人材の確保

と、育成の場所としても活用。

問 完成予定は。

答 平成29年12月に開設予定。

学校給食事業

問 未納家庭への対策は。

答 保護者への督促状や、電話による

る納入依頼などにより、不納欠損扱いにならないよう対応している。

国民健康

保険事業

問 24人が、不納欠損に至った理由は。

答 滞納者に換価する財産がないた

め、滞納処分執行停止を行い、これが3年を経過し時効を迎えたものである。

問 456人の、未納者に対する徴収計画は。

答 督促状や年3回の催告書の発送、差し押

さえ、分納誓約書の取り交わしなどを行い、滞納額の減少に努めている。

問 平成30年度からの国保運営はどのよう

うに変わるか。

答 まちと県が共同で運営する形に変わるが、保険証の発行や保

険給付などの窓口業務は、従来通りまちで行う。

問 保険税はどうなるのか。

答 まちの保険税は、現在試算中。

介護保険事業

問 認知症初期集中支援チーム研修会の内容は。

答 本稼働は、平成29年度であるが、準備期間段階で、精神福祉士1人が研修を受けたもの。

問 認定調査委託とは。

答 原則、3人の嘱託職員が、対応しているが、対応仕切れない分を、外部の民間施設に委託しているもの。

問 後期高齢者医療事業

普通徴収保険料未納者の内訳は。

答 現年度分10人、滞納繰り越し分が2人の合計12人。

問 上下水道料金のコンビニ収納の件数は。

答 4277件。

問 口座振替収納に、ポイント制のカードの使用はできないか。

答 今のところは考えていない。今後検討していく。

農業集落排水事業

問 炭化処理施設の稼働は。

答 平成28年度中、炭化処理施設は未稼働。今後の稼働は未定。

問 管理調査委託料、工事の決定方法は。

答 今後の稼働は未定。

問 指名競争入札で行っている。

答 水道事業

水道事業資本的収入の補助金の内容

問 防衛省の補助事業を活用し、老朽管布設替工事をして、石綿管の更新を進める。

公共下水道事業補正

問 公共下水道事業220万円の補正の内容は。

答 歳入の主なものは、国庫補助金の増額。

歳入の主なものは、管渠整備にとまなう建設費の増額。



開設が待たれる認知症カフェ



工事が進む老朽管布設替（下野田地区）

新教育委員に

木暮伸晴さん

教育委員の竹内邦夫さんが平成29年9月30日で任期満了となりま
した。
町長から新たに教育
委員として、木暮伸晴
さん（大久保・45歳）
を任命することに同意
を求められ、議会は全
会一致で同意しました。
教育委員は教育委員会
の審議のほか、学校行
事・会議への参加など、
様々な活動を行います。
任期は4年です。



教育委員
木暮伸晴さん

人権擁護委員候補者に

狩野清孝さん

人権擁護委員に狩野
清孝さん（大久保・66
歳）を推薦する町長の
諮問に対し、議会は全
会一致で適任と認め答
申しました。
人権擁護委員は、人
権相談や人権思想の啓
発活動などを行います。
任期は3年です。



人権擁護委員
狩野清孝さん

陳 情

	件 名	申請者	結 果
陳情	第3号 「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する陳情	全国森林環境税創設促進議員連盟 会長 板垣 一徳	不採択 賛成0 反対15

ミニ解説

※「ぐんま緑の県民税」
大切な森林を守るための財源で、国
庫補助対象にならない森林などの整
備のほか、市町村提案型事業として
住宅や道路周辺の山里、平地林、竹
林など身近な森林の整備に活用した
り、ボランティア活動や森林教育も
推進している。

群馬県は
平成26年度か
ら導入された
※「ぐんま緑の県
民税」が施行されて
います。当陳情書は、
県内市町村の動向を
見て判断しなければ
ならない。
審査の結果全会一
致で不採択です。



総務常任委員長
岩崎 信幸 議員

委員会審査報告

陳情第3号
「全国森林環境税の創設に関する
意見書採択」に関する陳情

反対討論

認定第4号
平成28年度吉岡町国民健康保険事業
特別会計歳入歳出決算認定について

国民健康保険は低所得者が
多く、払いたくても払えない
状況が増えています。
以前は市町村の50%は国の
補助金でまかっていたけれど、
現在では25%と半分減ら
されています。現在の国保
加入者4人のうち3人は非正
規労働者か、年金生活者や無
職の人たちです。一般会計
からの繰り入れによって、
値下げは十分可能だと考
えます。以上の理由か
ら反対討論といた
します。



小池 春雄 議員

賛否一覽

議員名 議案名および内容			結果			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
			賛 成	反 対	議決 結果	富岡 大志	大林 裕子	金谷 康弘	五十嵐 善一	柴崎 徳一郎	竹内 恵明	高山 武尚	村越 哲夫	坂田 一広	飯島 衛	岩崎 信幸	平形 薫	山畑 祐男	小池 春雄	岸 祐次	馬場 周二
議案	第31号	個人情報保護条例及び情報公開条例の一部改正…個人情報定義が明確化されたことなどによるもの	15	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	第32号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する一部改正…農業委員及び農地利用最適化推進委員の報酬に、実績に応じた報酬を支払うもの	15	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	第33号	地域福祉交流施設の設置及び管理に関する条例の制定…11ページ参照	15	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	第34号	介護保険条例の一部改正…介護保険法等の一部を改正する法律の施行に伴い改めるもの	15	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
認定	第1号	平成28年度一般会計歳入歳出決算認定…4・5ページ参照	15	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	第2号	平成28年度学校給食事業特別会計歳入歳出決算認定…6ページ参照	15	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	第3号	平成28年度公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定…6ページ参照	15	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	第4号	平成28年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定…6ページ参照	14	1	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
	第5号	平成28年度農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定…6ページ参照	15	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	第6号	平成28年度住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定…6ページ参照	15	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	第7号	平成28年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定…6ページ参照	15	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	第8号	平成28年度後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定…6ページ参照	15	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	第9号	平成28年度水道事業会計利益の処分及び決算認定…6ページ参照	15	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案	第35号	平成29年度一般会計補正予算…7ページ参照	15	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	第36号	平成29年度学校給食事業特別会計補正予算…7ページ参照	15	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	第37号	平成29年度公共下水道事業特別会計補正予算…7ページ参照	15	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	第38号	平成29年度国民健康保険事業特別会計補正予算…7ページ参照	15	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	第39号	平成29年度農業集落排水事業特別会計補正予算…7ページ参照	15	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	第40号	平成29年度介護保険事業特別会計補正予算…7ページ参照	15	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	第41号	平成29年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算…7ページ参照	15	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	第42号	平成29年度水道事業会計補正予算…7ページ参照	15	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	同意 第5号	教育委員会委員の任命…12ページ参照	15	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
諮問	第2号	人権擁護委員候補者の推薦…12ページ参照	15	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
陳情	第3号	「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する陳情…12ページ参照	0	15	否	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	—

※賛成…○ 反対…× 欠席…欠 退席…退 除斥…除 ※議長は採択に加わらないため「—」で表示